



## Global Enterprise Challenge(GEC) 参加報告

グローバル通信106号でご紹介したGlobal Enterprise Challengeというイベントの国内予選が3月27日に実施されました。このイベントは3名から8名で構成されたチームが12時間という制限時間の中で出された課題に対する解決案を英文での事業プラン文書及び動画で提出するものです。本校からは現高1の生徒5名が他校の生徒3名とチームを作り参加しました。国内予選の結果発表は4月21日に予定されています。チーム代表の尾関君に感想を寄せてもらいましたのでぜひ御覧下さい。

### GECに参加してみても

高校1年2組 尾関 裕宜

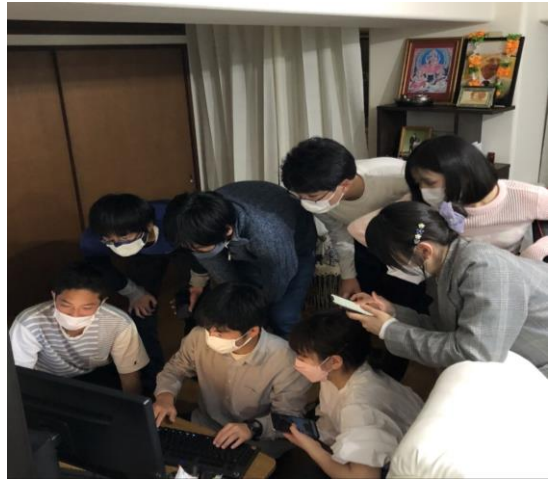
この度、GECで1グループのリーダーを務めさせていただいた尾関です。GECとは、与えられた課題に対して、その課題を解決するような事業を考え、プレゼンと事業計画書を通して投資者にアピールすることが元となっています。「事業」というと難しそうですが、要するに今ある技術や流通システムなどを使って、どう新しいものを作っているように見せるか、という話です(笑)。

この大会に参加しようと思ったのは、個人的に少し起業プロジェクトに興味があったのと、何か課外活動でできることを探していたからです。そこから、一緒に参加してくれそうな友達に声をかけて、運良く快諾してもらい、出場するに至りました。

課題の内容は毎年異なっており、今回の大会は「脱炭素を通したエネルギーゴミ・無駄の削減」という課題が与えられました。要するに、エネルギーの無駄、もしくはエネルギー生産によって生じる汚染物質を減らすような事業を作る、という課題です。

大会を通して、事業アイデアをいかにして出すか、議論をどう進めるか、段取りをどうするかなど様々な疑問点や難しさがありました。中でも、自分の出したアイデアを相手に分かりやすく伝えることはすごく難しく、自分の中ではすごく革新的なアイデアだったとしても、相手に伝わらなければ意味がないということを痛感しました。今回僕たちは8人で大会に挑んだので、ほぼ8人全員の同意がなければ、アイデアはグループの事業として認められません。実際に、本番で、僕らは納得のいくアイデアを出すことができなくて、当初8:00~12:00までに事業を固めようと計画していたのが8:00~16:00くらいまで議論が長引いてしまい、後半は相当焦りました。メンバーそれぞれの課題の解釈が違い、このアイデアは課題解決になってくれない?とか、いや課題はこういう意味でしょ!といった議論が白熱しました。

チーム全員が納得のいくアイデアを出すことが困難でもあり、この大会の一番の醍醐味でもあると思います。大会自体すごく面白く、普段経験できないような体験(例えば、8人でのディスカッション、動画編集、計画書作成等々)を色々たさせてもらいました。みなさんもよければ参加してみてください!



活動風景：各自で分担してリサーチをした上で最終的に文書及び動画を作成していきます。

## 2021 年度海外大学受験結果について

前年度は4名の生徒諸君が日本の大学受験と並行しながら海外大学に挑戦しました。4名とも海外大学から合格通知をいただくことができ、9月からは海を渡り新天地での新たな学業生活を送ることになっています。以下4名が合格した大学をお知らせします。一人で複数の大学から合格をいただいているケースもあるので実数としては20大学に上り、素晴らしい結果を出してくれました。後輩諸君もこれに刺激を受けて大いに頑張ってくださいと思います。

合格大学（アルファベット順 \*のみカナダでそれ以外はすべてアメリカ）

California Institute of Technology

Cornell University

DePauw University

Duke University

Lawrence University

Middlebury College

Minerva Schools at KGI

New York University

Swarthmore College

Union College

University of California San Diego

University of Illinois Urbana-Champaign

University of Michigan

University of Pennsylvania

University of Texas at Austin

University of Toronto \* 2名

University of Washington

University of Wisconsin - Madison

Williams College

工学系、総合大学、リベラルアーツなど各分野でランキング上位の大学も含まれています。現段階では最終進学先を検討中という生徒もおります。

## 2022 年 The Times Higher Education (THE) 世界大学ランキングについて

海外で発表される大学ランキングは複数ありますが、イギリスの有力紙 The Times が出す世界大学ランキングがよく知られており、頭文字を取って THE と称されます。大学を評価するに当たり、日本ではまだ偏差値による合格難易度に基づいたものが主流ですが、海外では学生に対する教育の充実度、研究機関としての充実度、先端の研究をするのに必要な資金面での充実度など複数の指標が用いられるのが普通です。指標毎のランキングと同時に総合ランキングも発表されます。

THE World University Rankings (2022)

| rank | university                            | number of students per staff | international students | country |
|------|---------------------------------------|------------------------------|------------------------|---------|
| 1    | University of Oxford                  | 10.7                         | 42%                    | U.K.    |
| 2    | California Institute of Technology    | 6.3                          | 34%                    | U.S.A.  |
| 3    | Harvard University                    | 9.5                          | 24%                    | U.S.A.  |
| 4    | Stanford University                   | 7.3                          | 23%                    | U.S.A.  |
| 5    | University of Cambridge               | 11.1                         | 39%                    | U.K.    |
| 5    | Massachusetts Institute of Technology | 8.4                          | 33%                    | U.S.A.  |
| 7    | Princeton University                  | 7.5                          | 23%                    | U.S.A.  |
| 8    | University of California, Berkeley    | 18.9                         | 23%                    | U.S.A.  |
| 9    | Yale University                       | 5.9                          | 21%                    | U.S.A.  |
| 10   | The University of Chicago             | 6.1                          | 33%                    | U.S.A.  |
| 35   | The University of Tokyo               | 10.6                         | 14%                    | Japan   |
| 61   | Kyoto University                      | 9.2                          | 11%                    | Japan   |

より詳細な情報は下記のリンクから御覧下さい。

[https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2022/world-ranking#!/page/0/length/25/sort\\_by/rank/sort\\_order/asc/cols/stats](https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2022/world-ranking#!/page/0/length/25/sort_by/rank/sort_order/asc/cols/stats)

ベネッセホールディングスは THE と提携して「THE 世界大学ランキング日本版」を出しています。日本版では大学の「教育力」を重視した指標となっており、上の表とは様子がかかなり変わってきます。

THE 世界大学ランキング日本版 総合ランキング

| 順位 | 大学     | 順位 | 大学    |
|----|--------|----|-------|
| 1  | 東北大学   | 6  | 北海道大学 |
| 2  | 東京大学   | 7  | 九州大学  |
| 3  | 大阪大学   | 8  | 名古屋大学 |
| 3  | 東京工業大学 | 9  | 筑波大学  |
| 5  | 京都大学   | 10 | 広島大学  |

1 1位は慶應義塾大学、1 2位は国際基督教大学、1 3位は早稲田大学と私大がランクインしてきます。

より詳細なデータは下記のリンクより御覧下さい。

<https://japanuniversityrankings.jp/rankings/total-ranking/>

更に「国際性」という指標に特化したランキングですと次のようになってきます。

| 順位 | 大学              |
|----|-----------------|
| 1  | 立命館アジア太平洋大学（大分） |
| 2  | 国際基督教大学         |
| 3  | 大阪女学院大学         |
| 3  | 宮崎国際大学          |
| 5  | 創価大学（東京）        |

より詳細なデータは下記のリンクより御覧下さい。

<https://japanuniversityrankings.jp/rankings/pillar-ranking/environment/>

このようなデータを目にすると日頃よく見かける偏差値ランキングはごく一部の指標を反映しているに過ぎないということが分かってくると思います。海外であろうが日本であろうが、今後志望校を検討するに当たり単にネームバリューだけで大学を選択するだけでなく、生徒諸君一人一人が大学に何を求めているのかをよく見極めて自分の関心のある分野が充実しているという側面も考慮することが大切です。



## 今年度もよろしくお願ひします

今年度最初のグローバル通信をお届けしました。発行は不定期ですが、生徒諸君の参考になるような記事を随時ご紹介していきたいと思っています。また在学中の留学や海外大学への進学等の相談にも応じています。また在学中に親御さんの海外赴任が決まったという親御さんからの相談にも応じています。中2以上の皆さんは既にご存知かと思いますが、2号館2階にグローバル教育部の小さな職員室があります。英語科職員室のはす向かいの位置になります。岡崎（英語科）と山口（英語科）の2名が常駐しています。何か相談があればどうか遠慮なく訪ねて下さい。両名とも通常の教員業務をしていますので授業・会議・講習・部活動等で席を外している時間もあります。不在の際は改めて訪ねて下さい。相談内容によってはまとまった時間を要することもあるでしょうからその場合はまずはアポを取ることをお勧めします。今年度は時間割編成の都合で岡崎・山口両名とも火曜日が研究日で不在となりますのでどうかご了承下さい。